

報道関係者各位

豆腐業界初！石灰石を主原料とする「LIMEX Sheet（真空成形グレード）」を 豆腐容器に採用した商品の販売開始 ～プラスチック使用量を約23%、温室効果ガス排出量を約11%削減～

株式会社おとうふ工房いしかわ（本社：愛知県高浜市、代表取締役：石川伸、以下 おとうふ工房いしかわ）は、株式会社TBM（本社：東京都千代田区、代表取締役CEO：山崎敦義、以下 TBM）の「LIMEX Sheet（ライメックスシート）」（真空成形^{*1}グレード）を豆腐容器に採用した商品の販売を開始いたします。2023年1月より、おとうふ工房いしかわの直営店や全国のスーパーなどで販売を開始し、順次本素材を採用した豆腐容器に切替えて参ります。

従来のプラスチック容器から LIMEX Sheet を使用した容器に切り替えることで、プラスチック使用量を年間約23%、温室効果ガス排出量を約11%削減することができます^{*2}。LIMEX は単一素材で設計された製品と同様、既存のリサイクル設備でも再生利用ができます。今後おとうふ工房いしかわとTBMは、愛知県内の資源循環を促進すべく、LIMEX 製豆腐容器の回収システムを構築して参ります。

^{*1} 真空成形とは、プラスチックの薄板を加熱して軟らかくした後に、金型に真空吸引して密着させることで成形するプラスチック成形方法の一つです。

^{*2} 株式会社TBMによるLCAより（原材料調達～処分）、製造条件によって変動の可能性あり。



■ 背景

気候変動問題や諸外国の廃棄物輸入規制強化などへの対応を契機として、国内におけるプラスチックの資源循環を一層促進する重要性が高まっています。こうした背景を踏まえ、国内では2022年4月1日より「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」^{*3}が施行されました。これにより、プラスチックを使用する事業者は、代替素材や再生プラスチックの使用、再資源化などが求められています。

おとうふ工房いしかわは、企業理念のひとつ「地球の環境を守りたい」を掲げ、廃棄物削減への取り組みを推進しています。豆腐の流通には、食品安全の観点から品質保持と製品特性上、耐水性・耐熱性が求められプラスチック素材の容器が用いられてきました。豆腐という日常のなかで日々食べられる食材に容器として用いられるため、豆腐容器のプラスチックの使用量削減は、持続可能な食の提供に不可欠であり、解決すべき課題のひとつであると考えます。農業・環境・文化・地域を企業理念に掲げるおとうふ工房いしかわは、環境負荷軽減に向けた取り組みを通して、持続可能な社会づくりの実現を推進していきます。

^{*3} プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律とは、プラスチックを使用する製品の設計、使用、処理のライフサイクル全般において、あらゆる主体によるリデュース、リユース、リサイクルその他の再生を促進するための法律です。

■ LIMEX（ライメックス）とは

LIMEX は、炭酸カルシウムなどの無機物を 50%以上含む、無機フィラー分散系の複合素材です※。主原料が石灰石であるため、プラスチックや紙の代替製品を製造する際に使用する石油や水や森林資源など、枯渇リスクの高い資源の保全に貢献することができます。その環境性能については、製品の原材料調達から生産、流通、使用、廃棄に至るまでの製品のライフサイクルにおける環境影響を科学的に分析するライフサイクルアセスメント（LCA）という手法を用いて算定し、素材開発に活用しています。

すでに 8,000 以上の企業や自治体等にて採用されており、世界 40 カ国以上で特許を取得、COP や G20 などの国際会議で紹介される他、日本の優れた技術として、UNIDO（国際連合工業開発機関）のサステナブル技術普及プラットフォーム「STePP」に登録されています。

※一般社団法人日本規格協会が発行する JSA 規格では「無機成分を主成分とする無機・有機複合マテリアル（JSA-S1008）」と定義されています。

<石灰石について>

LIMEX の主原料である石灰石は地球上に豊富に存在し、資源輸入国である日本においても自給自足が可能な資源です。そのため原油価格の変動に左右される石油由来プラスチックなどと比較して、安定した価格での原料調達が可能であり、供給面においても安定性を有しています。さらに、石灰石は石油由来プラスチックと比較して、原材料調達段階の CO₂ 排出量を約 50 分の 1 に抑えることができ、焼却時の CO₂ 排出量を約 58%削減できます。

<リサイクルについて>

LIMEX は、主要構成素材である無機物と熱可塑性樹脂を分離することなく再生利用することができるため、単一素材で設計された製品と同様、再資源化の可能性が担保されています。これまでに事業者や消費者、自治体と連携し、既存のリサイクル設備を活用した LIMEX のマテリアルリサイクルの取り組みを数多く実施しています。

※LIMEX Sheet 製品は、古紙回収には混ぜないでください。事業系廃棄物として処分する場合は、産業廃棄物として処理してください。家庭系廃棄物として処分する場合は、可燃としてお住まいの自治体のルールに従いご対応ください。

■ LIMEX 製豆腐容器採用「究極のきぬ 350g」「至高のもめん 350g」について

おとうふ工房いしかわのトップブランド「究極のきぬ」「至高のもめん」シリーズにて LIMEX 製豆腐容器を採用いたします。「究極のきぬ」「至高のもめん」は、「自分の子どもに食べさせたい豆腐をつくろう」と 26 年前に開発・販売しているロングセラーブランド。国産大豆、にがり寄せのこだわりに加え、オリゴ糖を使用し豆腐の持つ独特なおいをマスクする独自製法により多くの人に親しまれている製品です。

なお当豆腐容器については、順次採用製品を拡大していく予定です。

■ SDGs AICHI EXPO 出展いたします（10/6~8）

おとうふ工房いしかわは、SDGs への取り組みの広報活動の一環として、SDGs AICHI EXPO2022 へ LIMEX 使用の豆腐容器やおからはじめとしたアップサイクル商品の展示を行ないます。

会期中に本件含め取材を受け付けております。

【開催概要】

名称：SDGs AICHI EXPO 2022

会場：Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）展示ホール A

（常滑市セントレア 5 丁目 10 番 1 号）

開催日時

2022 年 10 月 6 日（木） 10:00~17:00

2022 年 10 月 7 日（金） 10:00~17:00

2022 年 10 月 8 日（土） 10:00~17:00

■ 企業情報

株式会社おとうふ工房いしかわ <http://www.otoufu.co.jp/>

おとうふ工房いしかわは、「日本の農業を応援したい」「地球の環境を守りたい」「昔からの味わいを大切に、さらにそれを創造します」「地域の皆さんに愛されたい」を企業理念に、国産大豆の豆腐製造と豆腐専門店「とうふや豆蔵」など 35 店舗を展開しています。いち早く「国産大豆」「にがり寄せ」に加え、新たなビジネスモデルとして「豆腐専門店」「豆腐レストラン」「移動販売」「通信販売」に取り組んできた豆腐業界のリーディングカンパニーとして持続的なものづくりに今後も取り組んでいます。

株式会社 TBM <https://tb-m.com/>

TBM は、「進みたい未来へ、橋を架ける」をミッションに掲げ、何百年も挑戦し続ける時代の架け橋となる会社として「サステナビリティ革命」の実現を目指し、環境配慮型の素材開発及び製品販売、資源循環を促進する事業などを国内外で展開しています。石灰石を主原料する新素材「LIMEX（ライメックス）」は、プラスチックや紙の代替となり、枯渇資源の保全や温室効果ガスの抑制に寄与しています。また再生材料を 50%以上含む素材「CircleX（サーキュレックス）」をはじめ、自治体や民間企業などと連携し、使用済みの LIMEX や廃プラスチックを回収し再生する資源循環モデルの構築を推進しています。2021 年、日本経済新聞の「NEXT ユニコーン調査」において企業価値評価額「1336 億円」で 4 位にランクインし、ユニコーン企業として紹介されました。

*本リリースに記載された会社名および商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

*本リリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

この件に関するお問い合わせ先

株式会社おとうふ工房いしかわ 営業戦略部 広報担当 石川 諒

TEL:070-1439-9966 Email: r-ishikawa@otoufu.co.jp